

ISOG-J 活動状況の概況報告

武智 洋

日本セキュリティオペレーション事業者協議会
ISOG-J

2010 年 6 月 11 日

設立のきっかけ



- セキュリティに関わる運用（セキュリティオペレーション）がどのようなものか、明確な定義がない
- セキュリティオペレーションに携わる人たちがどのように働いているのか明確なイメージがない
- 何より、いろいろ相談したくても、セキュリティオペレーションに関わっている人たちのコミュニティがない

- セキュリティオペレーションとは何か
- セキュリティオペレーションに関してユーザに必要な情報は何か
- セキュリティオペレータが持つべきスキルとは？
- セキュリティオペレーションの重要性をもっと世の中の人に知ってもらうにはどうしたらよいか

ISOG-J設立の目的



- ユーザへの各種情報提供
 - セキュリティオペレーションサービスの各種ガイドライン・指標の作成
- 参加事業者間の協力・連携
 - セキュリティオペレーションに関する業界横断的な課題の抽出と検討
 - セキュリティオペレーションに必要な各種セキュリティツール等に関する情報交換
 - 横断的なオペレータ教育/育成支援活動
- 他の関連団体との協力・連携
- セキュリティオペレーションの重要性の普及・社会的認知向上への貢献
- セキュリティオペレータ間の交流の促進



JNSA

この一年で...



- 2008年6月13日 発足
 - 約二年たちました
- 会員
 - 発足時10社、現在17社
- 新規加入
 - エヌ・ティ・ティ・データ・セキュリティ株式会社
- 活動メンバー数
 - 登録メンバー数 約80名
- 運営委員会とWGの設立と活動
 - 原則それぞれ月1回開催（今までで合計約40回の会合開催）



会員企業



株式会社インターネットイニシアティブ

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

NECネクサソリューションズ株式会社

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

NTT コムテクノロジー株式会社

エヌ・ティ・ティ・データ・セキュリティ株式会社

株式会社 Kaspersky Labs Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本電気株式会社

日本電信電話株式会社

株式会社日立情報システムズ

富士通株式会社

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ

株式会社ブロードバンドセキュリティ

三井物産セキュアディレクション株式会社

株式会社ラック



協力組織等



- オブザーバー
 - 経済産業省
 - 総務省
- アドバイザリー
 - 北陸先端科学技術大学院大学 篠田陽一教授
- 関連団体
 - JPCERT/CC（有限責任中間法人JPCERTコーディネーションセンター）
 - IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）

1. セキュリティオペレーションガイドラインWG
2. セキュリティオペレーション技術WG
3. セキュリティオペレーション関連法調査WG
4. セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WG

セキュリティオペレーション ガイドラインWG



- WG Chair: 許 先明
 - 株式会社ブロードバンドセキュリティ
- MSSP事業者を利用する方が参考にするのできるガイドラインの作成
- この後、別途発表させていただきます

セキュリティオペレーション 技術WG



- WG Chair: 川口 洋
 - 株式会社ラック
- 参加事業者のうち、実際に現場で運用を行っている技術者間の情報交換、技術力向上に関する活動を実施
- 2009年度は12回の定例会合を開催
 - 各社SOCの見学や将来を見据えた技術取得等

セキュリティオペレーション 関連法調査WG



- WG Chair: 出口 幹雄
 - 株式会社富士通
- セキュリティオペレーション事業者に関連する様々な法律に関する調査及び整理を行う
- 2009年度は12回の会合及び合宿を実施
 - 関連法規の抽出及び整理を行っている

セキュリティオペレーション 認知向上・普及啓発WG



- WG Chair: 多田 昭仁
 - 株式会社日立情報システムズ
- ISOG-Jの活動を広報し、セキュリティオペレーションの必要性に関する普及・啓発を行う
- 2009年度は、12回の会合を実施。また、セミナーの開催などを実施



終わりに

- ISOG-Jの2年間を通じて
 - 希有な経験とその共有
 - 実際にやってみる — 実践主義
 - セキュリティオペレータとしての自負の醸成
 - IPA、JPCERT/CC からの評価